

商工第136号
令和3年9月16日

岩手県商工会議所連合会 会長
岩手県商工会連合会 会長
岩手県商店街振興組合連合会 会長
岩手県中小企業団体中央会 会長
一般社団法人岩手経済同友会 代表幹事
一般社団法人岩手県工業クラブ 会長
公益財団法人岩手県観光協会 理事長
公益財団法人いわて産業振興センター 理事長

様

岩手県商工労働観光部長

「岩手緊急事態宣言」の解除について

日頃から、本県の商工業・観光業の振興について、格別の御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、県では、県全体の人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数が9.6人となり、10人を下回ったことから、本日、岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第41回本部員会議を開催し、「岩手緊急事態宣言」の解除を決定いたしました。

「岩手緊急事態宣言」の解除により、不要不急の外出自粛要請及び県施設の原則休館・利用制限を解除するとともに、「いわての食応援プロジェクト」については、一時停止した食事券の販売を再開することを決定しました。また、「いわて旅応援プロジェクト(第2弾)」についても、早ければ10月1日から開始できるよう準備を進めることといたしました。

なお、全国の状況を見ると、いまだ感染リスクが高い状態であることから、緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域との不要不急の帰省や旅行などの自粛や、緊急事態宣言等が発令されていない地域であっても、感染が拡大している地域等との往来は慎重な判断をお願いする知事メッセージが発出されました。

つきましては、貴会等におかれましても、本会議での決定内容等について御了知いただき、会員等の皆様へ一層の感染対策や産業支援等に御尽力いただくことについての周知徹底について、御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

担当：商工企画室 管理課長 星野
電話：019-629-5526

新型コロナウイルス感染症対策本部 第41回本部員会議
知事メッセージ（令和3年9月16日）

本日、県全体の人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数が9.6人となり、10人を下回りました。

これをもって、「岩手緊急事態宣言」を解除します。

8月12日以降、県民の皆様には、不要不急の外出自粛などをお願いしていたところですが、県民の皆様の御努力、御協力により、今日の日を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

「岩手緊急事態宣言」の解除により、

- ・ 不要不急の外出自粛要請を解除します。
- ・ 県施設の原則休館・利用制限を解除し、開館の準備が整い次第、再開します。
- ・ 「いわての食応援プロジェクト」については、一時停止した食事券の販売を再開します。

岩手緊急事態宣言を解除することになりますが、コロナがゼロになった訳ではありません。感染対策の気の緩みが再び感染拡大につながります。

飲食店利用については、感染対策が整っている「いわて飲食店安心認証」取得店の利用を推奨します。会食は、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクの着用をお願いします。

全国の状況を見ますと、昨日（9月15日）現在、人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数が15人を超える感染拡大都道府県が32となっており、いまだ感染リスクが高い状態です。

緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域との不要不急の帰省や旅行などは自粛をお願いします。

緊急事態宣言等が発令されていない地域であっても、感染が拡大している地域等との往来は慎重に判断するようお願いします。

再び感染拡大が生じた場合には、再び「岩手緊急事態宣言」を実施し、更なる感染拡大を抑え、医療体制のひっ迫を防がなければなりませんので、基本的な感染対策の徹底や慎重な行動など、引き続きお願いします。

令和3年9月16日
岩手県知事 達増 拓也

新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言の解除

令和 3 年 9 月 16 日
岩手県新型コロナウイルス
感染症対策本部

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の増加による医療の逼迫を避けるため、令和 3 年 8 月 12 日、新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言（以下「岩手緊急事態宣言」という。）を発したところであるが、令和 3 年 9 月 16 日、県内の直近 1 週間の新規感染者数（対人口 10 万人）が 9.6 人と 10 人を下回ったことから、岩手緊急事態宣言を解除する。

岩手県における新型コロナウイルス感染症 感染防止対策

- 1 県民の皆様、来県された皆様へのお願い
- 2 事業所・飲食店等・学校・医療機関へのお願い
- 3 思いやりの気持ちと冷静な行動のお願い
- 4 岩手県の対策

令和3年9月16日

岩手県

1

1 県民の皆様、来県された皆様へのお願い

(1) 感染が拡大している地域等との往来

緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域との不要不急の帰省や旅行などは自粛をお願いします。

また、緊急事態宣言等が発令されていない地域であっても、感染が拡大している地域等との往来は慎重に判断するようお願いします。

緊急事態宣言区域 (19都道府県)

北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県、沖縄県

まん延防止等重点措置区域 (8県)

宮城県、福島県、石川県、岡山県、香川県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

2

1 県民の皆様、来県された皆様へのお願い

直近1週間の新規患者数(対人口10万人)が、15人以上の地域*

青森県、福井県、山梨県、奈良県、徳島県、高知県、佐賀県、大分県

不要不急の往来や外出の自粛のお願いを実施している地域*

秋田県、山形県、富山県、長野県、和歌山県、鳥取県、島根県、山口県、愛媛県、長崎県

※ 緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域を除く。(9月15日現在の状況。岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部調べであり、移動の際には、訪問先や出発地の状況の確認をお願いします。)

【不要不急の往来に該当しない場合(例)】

- ・ 会社の業務での出張 (※ 医療関係者をはじめ県民生活に不可欠なサービスの提供に係る出張、リモート対応が困難な業務による出張 など)
- ・ 病院への通院
- ・ 親などの介護
- ・ 就職活動

3

1 県民の皆様、来県された皆様へのお願い

(2) 基本的な感染対策の徹底

家庭や職場を含むすべての場における基本的な感染対策の徹底をお願いします。

特に重症化リスクの高い方(高齢者、基礎疾患のある方等*)や、幼稚園・保育園・小学校に通う子どもの同居家族の方は一層の注意をお願いします。

- ・ 手洗い、常時マスク及び咳エチケットを励行する。
- ・ 適切な方法でマスクを着用する。
- ・ ワクチン接種後もマスクを着用する。
- ・ 近距離での会話や大声での発声等を避ける。
- ・ 室内の換気、湿度の調節を心がける。
- ・ 毎日の健康確認。体調不良時は外出を避け、電話相談の上で早期受診する。

※ 重症化リスクの高い方(高齢者、基礎疾患のある方等)

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方です。重症化のリスクとなる基礎疾患等には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙があります。

出典:「新型コロナウイルス感染症のいま*に関する11の知識(2021年6月版)」(厚生労働省)

4

1 県民の皆様、来県された皆様へのお願い

- ・ やむを得ない事情等により、他の都道府県から岩手県に来県された方は、来県後2週間は、それまでにいた都道府県が要請している自粛等を継続※する。
- ・ 密閉・密集・密接の重なる三密の場面だけでなく二つあるいは一つだけでも感染リスクがあることから、それらの要素を伴う会合等を回避する。
- ・ 会食は短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用する。

※ それまでにいた都道府県が要請している自粛等の継続

例えば、それまでにいた都道府県において、不要不急の外出・移動の自粛等の要請が出されている場合、本県に来られた後も2週間は、引き続きその要請等を守っていただくようお願いするものです。（一律に自宅待機などをお願いしているものではありません。）

2 事業所・飲食店等・学校・医療機関へのお願い

(1) 事業所へのお願い

- ・ 従業員の健康状態を記録する。
- ・ 発熱等症状のある従業員は出勤せず、早期に医療機関を受診する。
- ・ 昼食時、休憩時を含めて会話時のマスク着用を徹底する。
- ・ 在宅勤務（テレワーク）、ローテーション勤務、時差出勤等により、人との接触を低減する。
- ・ オンライン会議の活用等により、出張機会を低減する。
- ・ 休憩室、更衣室においてもマスク着用を励行するとともに、密が生じないような過ごし方を徹底する。
- ・ 食堂、喫煙室では、マスクを外した会話とならないよう注意する。

2 事業所・飲食店等・学校・医療機関へのお願い

(2) 飲食店・宿泊施設などへのお願い

- ・ 宿泊施設、飲食店、歓楽街の店舗は、自己点検の上、業種別ガイドラインの遵守を徹底する。
- ・ 宿泊施設、飲食店、歓楽街の店舗を利用する場合は、店舗等の感染対策の取組へ協力する。
- ・ 「いわて飲食店安心認証」の取得に取り組む。
- ・ 接待を伴う飲食店の利用者と従事者は、接触情報、連絡先情報を記録する。

2 事業所・飲食店等・学校・医療機関へのお願い

(3) 学校へのお願い

(県立学校)

- ・ 校外で行う活動（修学旅行、遠足、社会科の見学、体験活動等）については、外部との接触がある活動内容を見直し、適切な感染防止策を徹底する。
- ・ 当面、部活動は、可能な限り短時間とし、県外の学校と行う練習試合等は、原則禁止とする。
- ・ 文化祭等の学校行事は、地域の感染状況を踏まえ、学校長が慎重に判断の上、実施する。
- ・ 公共交通機関による通学での密を避ける必要がある場合には、時差通学を実施する。

(市町村立及び私立の小学校・中学校・高等学校)

- ・ 県立学校の取組に準じて対応する。
- ・ 感染が確認された場合は、県と連携して感染拡大防止を徹底する。

2 事業所・飲食店等・学校・医療機関へのお願い

(4) 医療機関へのお願い

- ・ 発熱等の症状のある方に対して積極的な検査を実施する。

3 思いやりの気持ちと冷静な行動のお願い

- ・ 感染された方々やその家族などに対する差別、偏見、誹謗中傷は決して許されません。相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動しましょう。
- ・ 医療関係者をはじめ、県民生活に不可欠なサービスの提供に従事している皆さまに、感謝と思いやりの気持ちをもって応援して下さるようお願いいたします。
- ・ 新型コロナワクチンは、本人の意志に基づき接種を受けるものであり、職場や周りの方への接種の強制や、接種を受けていない方への差別的な扱いをすることの無いようお願いいたします。

4 岩手県の対策

- ・ いわての食応援プロジェクト食事券販売の再開
- ・ 事業者の支援
- ・ 商工業団体等への感染対策の徹底の働きかけ
- ・ 感染状況を踏まえた県主催イベントの再開
- ・ 感染状況を踏まえた県施設の再開
- ・ 医療提供体制の確保
- ・ ワクチンの接種体制の強化 等

「いわての食応援プロジェクト」の食事券販売再開について

【要旨】

このことについて、新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言が解除されたことを踏まえ、食事券の販売を再開する。

1 再開時期

9月18日(土)以降順次販売を再開

※ 各商工会については、9月21日(火)から販売を再開

2 販売場所

県内全市町村（スーパー、道の駅、商工会など計110か所 ※別添チラシ参照）

〔参考〕

1 いわての食応援プロジェクト参加飲食店数（9月10日現在）

総数	盛岡局管内	県南局管内	沿岸局管内	県北局管内
1,731店	746店	603店	251店	131店

※ 接待飲食等営業を行う店舗やデリバリー・テイクアウト専門店は対象外

2 食事券の販売状況等

販売予定数 : 約23万冊

販売済数 : 約5万冊

販売期間 : 令和3年11月15日まで

利用期間 : 令和3年12月15日まで

Go To Eat キャンペーン

いわての食

応援

プロジェクト

販売期間

令和3年

8月2日月～11月15日月

利用期間

令和3年

8月2日月～12月15日水

5,000円分の
食事券を
1冊/500円券×10枚
4,000円で
販売!

いわての食応援プロジェクトとは...

「いわて飲食店安心認証店」で利用できる食事券を販売し、岩手の食（飲食店・生産者）を応援する取組です。

1冊5,000円分（500円券×10枚）の食事券を4,000円で販売します。

※食事券は、お一人様1回5冊まで購入できます。



利用できる飲食店

岩手県内の「いわての食応援プロジェクト」のステッカーのある飲食店で利用できます。詳しくはホームページをご覧ください。

販売店・購入方法

「いわての食応援チケット」の販売店は裏面がホームページをご覧ください。

いわて GoToEat

検索



いわての食応援チケット使えます
令和3年12月15日まで

スマホから調べるならこちらから



参加飲食店募集!



「いわての食応援プロジェクト」に参加するためには、「いわて飲食店安心認証制度」の認証が必要となります。

※その他、農林水産省が定めるGo To Eat キャンペーンの基準を満たすことが条件となります。
※「いわて飲食店安心認証制度」については、裏面をご覧ください。

※ 岩手県 / いわての食応援プロジェクト事務局

いわての食 応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染予防対策
「いわて飲食店安心認証制度」を取得している



食材を供給する



岩手の飲食店を応援することで、農林漁業者を応援するとりくみです。

いわての食応援チケットの販売窓口はコチラ！

※営業日・時間は各窓口によって異なります。 ※状況によっては売り切れとなる窓口もございます。 ※最新の販売窓口情報についてはHPをご確認ください。

■岩手県内各商工会

※八幡平市商工会では、本所以外に安代支所でも販売
※洋野町商工会では、本所以外に大野支所でも販売

■岩手県内各観光案内所

盛岡観光コンベンション協会

■イオン・マックスバリュ・イオンスタイル

イオン盛岡南店、イオン盛岡店、イオン江釣子店
イオン一関店、イオン前沢店、マックスバリュ
盛岡津志田店、マックスバリュ盛岡駅前北通店
マックスバリュ盛岡中屋敷店、マックスバリュ
花巻店、マックスバリュ石鳥谷店、マックスバリュ
北上店、マックスバリュ西根店、マックスバリュ
紫波店、マックスバリュ矢巾店
イオンスタイル江刺

■イオンスーパーセンター

盛岡浜民店、一関店、陸前高田店、釜石店
水沢桜屋敷店、紫波古館店、金ケ崎店

■岩手県内百貨店・商業施設

パルクアベニュー・カワトク、盛岡駅ビル フェザン
キャッセン大船渡、サン・リアショッピングセンター
なにやーと物産センター、アバッセたかた
みずさわ観光物産センター Zプラザアテルイ
一関一BA(いちば)、千厩ショッピングモール
エスピア

■キクコーストア

石鳥谷店、花巻不動産、遠野バイパス店
とびあ店、明神前店、釜石松倉店、山田インター店

■いわて生協

コープAterui(アテルイ)、コープ一関COLZA
(コルザ)、コープ高松、コープ西が丘、コープ
花巻あうる、ベルフ青山、ベルフ北上、ベルフ
魚菜市場、ベルフ仙北、ベルフ西町、ベルフ八幡平
ベルフ牧野林、ベルフまつぞの、ベルフ山岸
マリコープDORA(ドラ)

■やまや

都南店、月が丘店、盛岡本宮店、花巻店、北上店
一関店、水沢店、江刺店、紫波店、矢巾店

■テナント

岩手県庁生協、THIS is ME!(盛岡市大通ECO
ビル内)、美美(二戸ショッピングセンターニコア内)
さんてつや(三陸鉄道宮古駅隣接)

■道の駅

道の駅たろう内・産直とれたろう、みやこ・
シートピアなど、やまびこ館・売店、とうわ・
東和温泉、はなまき西南、白樺の里やまがたくじ、
高田松原、雫石あねっこ、平泉、種山ヶ原
やまだ、おおの(グリーンヒルおおの)

■TSUTAYA

花巻店、MORIOKA TSUTAYA

食事券を購入 利用されるみなさまへ

参加飲食店が第1弾いわてGo To Eatキャンペーンと異なる場合があります。

ご利用予定のお店が対象店舗であることを確認のうえ食事券をお買い求めください。

なお、お手元に第1弾いわてGo To Eatキャンペーンの食事券が残っていても、使用および交換はできません。

※食事券冊子は、お一人様1回5冊まで購入できます。なお、予定数に達し次第、販売終了となります。

※食事券は一部及び全部を問わず、換金、転売及び払い戻しはできません。

「いわて飲食店安心認証制度」とは

飲食店が実施する新型コロナ感染対策について、県が認証制度を設けることにより、利用者に安心して飲食できる環境を提供することを目的とするものです。認証店には、「いわての食応援プロジェクト」への参加や、「認証取得事業者支援金」の給付が受けられます。詳しくは、以下のご案内先をご確認ください。



申請手続き、基準や制度の概要等は、県ホームページで
ご確認ください。

申請用ホームページURL
<https://iwate-ninshou.jp>

■いわて飲食店安心認証事務局 ☎019-613-8009



認証取得事業者支援金

■認証を受けた飲食店等(中小企業者が営むもの)に対して、10万円
の支援金を給付することとしています。

<https://iwate-kigyoushien.com/inshokuten-shien/>

■支援制度事務局 ☎019-601-3077



みんなで
感染症対策に
取り組もう！

NG

大人数での会食や
飲み会は避ける

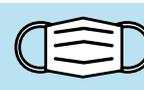
NG

会話の声は控えめに


デリバリーや
テイクアウトも活用


混雑する時間帯の
利用を避ける


食事の前には
手洗いや消毒を


食事中以外は
マスクを着けよう

このほか、参加飲食店の感染対策への協力、接触確認アプリのインストールなど、みんなで協力して感染症対策に取り組みましょう。

岩手県／いわての食応援プロジェクト事務局

HPアドレス <http://www.iwate-gotoeat.jp>

〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通4番4号

受付時間
(平日 10:00~17:00)

お問い合わせ ☎019-624-5050



いわて飲食店安心認証店の認証状況等について

1 認証状況等について

(1) 認証店数【令和 3 年 9 月 10 日現在】

総数	盛岡局管内	県南局管内	沿岸局管内	県北局管内
3,635 店	1,535 店	1,300 店	557 店	243 店

(2) 認証申請等の状況【令和 3 年 9 月 10 日現在】

期間	申請受付数	訪問確認数	認証済数	電話相談件数
6/28～7/2	150 店	6 店	3 店	246 件
7/3～8/2	3,141 店	1,722 店	1,259 店	2,633 件
8/3～9/10	743 店	1,999 店	2,373 店	2,888 件
合計 〔対申請受付割合〕	4,034 店	3,727 店 〔92%〕	3,635 店 〔90%〕	5,767 件

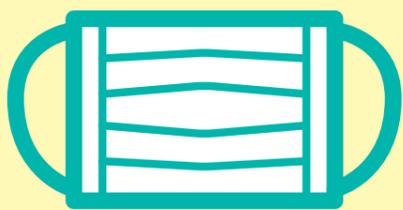
2 今後の対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言の解除に向けて、認証店における感染対策の一層の徹底を図るため、改めて認証基準に沿った感染対策の確実な実施について通知するとともに、9月15日から再度の訪問確認を開始。
- ・ 県民に対して、認証店の利用促進を図るため、専用ホームページへの認証店の掲載に加え、テレビCMなどを活用し広く周知。
- ・ 市町村に対して、認証の取得や認証店の利用促進策について働きかけ。

継続した取り組みで、 安心の飲食店を!

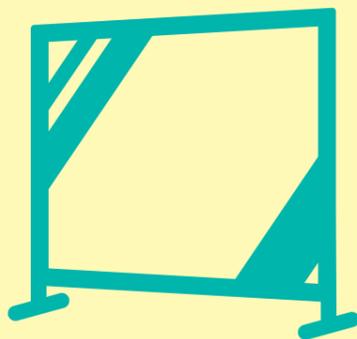
徹底項目の確認

会話時のマスク着用



マスクを外しての飲食等で
感染リスクが高まっております。
マスク会食を徹底しましょう!

アクリル板の設置 または 距離の確保



来店者名簿の作成



来店日時、氏名、連絡先を
きちんと管理!

手洗い・消毒の徹底



換気の徹底



カラオケの自粛 または マイクの都度消毒



28項目の認証基準を確認し徹底しましょう!

安心の飲食店で、もっとおいしく! もっと楽しく!

どんどん広がる、安心の輪。

\安心してお店を利用いただくための/
いわて飲食店安心

認証制度



いわて飲食店安心認証事務局 TEL 019-613-8009

[受付時間] 平日10:00~17:00 ※令和3年12月25日(土)~令和4年1月3日(月)までは休業
〒020-8777 岩手県盛岡市名須川町17-10 ホームページ <https://iwate-ninshou.jp>



新型コロナワクチン接種の進捗状況等について

1 県内のワクチン接種の進捗状況

(1) 接種実績（9月15日時点）

接種済回数	1回目		2回目		県内の状況
	1回目	2回目	1回目	2回目	
1,362,193	754,121	608,072	・ 県内の12歳以上人口約111万7千人のうち、 <u>1回目接種は67.5%、2回目は54.4%が終了。</u>		

(2) 今後の見込み

ア 今後の接種見込

8/23～8/29の接種ペース（週6万5千回）が9月中も継続していくと仮定した場合、9月末時点で1回目接種率は70%程度、2回目は60%程度となる見込み。

イ 供給見込

- ・ 9/6の週～10/1の週までに県内各市町村には、ファイザー社ワクチンが308箱（360,360回、180,180人分）供給されることとなっている。
- ・ さらに、追加分の県調整枠として10/4の週に28箱（32,760回、16,380人分）が配給されることから、接種の遅れが見られる市町村に集中的に配分のうえ、市町村の集団接種の拡充など接種体制を支援していく。
- ・ なお、県内に供給されるワクチンについては、モデルナ社ワクチンを含め、10月中旬までに12歳以上人口の85%程度に2回接種するのに必要な量が供給される見通しとなっている。

2 県による第3期集団接種の実施（10月初旬～）

ワクチン接種の遅れが見られる市町村の接種体制を補完するため、ワクチン及び医療従事者を追加で確保し、10月初旬から県央地区で新たに第3期集団接種を実施する。

(1) 実施時期 10月2日（土）～11月21日（日）

(2) 接種規模 1万回（5,000人分）

(3) 予約開始日 9/27の週～（※詳細は9/20の週に県のホームページ等で情報提供）

【接種の日程（予定）】

クール	1回目接種		2回目接種		接種回数	接種人数
1 C	10/2, 3	岩手産業文化センター・アピオ	10/30, 31	岩手産業文化センター・アピオ	2,800	1,400
2 C	10/9, 10	岩手産業文化センター・アピオ	11/6, 7	岩手産業文化センター・アピオ	2,800	1,400
3 C	10/23, 24	岩手産業文化センター・アピオ	11/20, 21	岩手県立大学体育館	4,400	2,200
合計					10,000	5,000

※ 10/2、3、9、10は、第2期集団接種の2回目接種と同じ会場で、並行して実施する。

3 市町村支援の強化

11月末までに希望する全ての県民へのワクチン接種が終わるよう、引き続き、県医師会等と連携し、市町村への医療従事者の広域派遣調整を実施するとともに、医療機関での接種の更なる底上げを図っていく。